
情報活用能力を育てる技術・家庭科の授業

- 表現方法の工夫によるうったえかける作品作りを目指して -

南中学校 (実践・報告者) 関口武志

1 題材名 「年賀状orクリスマスカードを作ろう」

(技術分野：『情報とコンピュータ』)

2 題材の目標

コンピュータの基本的な構成と機能及び操作について学習をすることは、情報社会を生きる私たちにとって大切なことである。また、情報をどのように処理し、自分の考えを表現・伝達していくかも大切なポイントである。しかし、文字だけでなく画像等を盛り込んでいくと、思い通りに配置ができないことも多い。そこで、うったえかける作品作りを目指し、文字・部品・画像等を盛り込んだ本題材を設定し、情報活用能力の基礎・基本の技能を、豊かな表現力の育成に、結びつけるものとした。

3 指導計画 (4時間扱い)

1. 用紙設定・フォントエフェクトの使い方
2. 部品の使い方と、文字・画像・部品の扱いの違い (本時 2 / 4)
3. 製作
4. 製作と印刷

5 情報機器活用の意図・情報教育の視点

情報教育の目標である「情報活用能力：(情報活用の実践力・情報の科学的な理解・情報社会に参画する態度)」を育成していくためには、情報技術の向上や情報モラルの育成を様々な教育活動の中で意図的、計画的に進めていく必要がある。本題材は、身近なものとして設定し、「年賀状 or クリスマスカードの製作」とした。文字だけの文書から、画像や部品をもちいた工夫のある作品を作ることができ、生徒の学ぶ意欲を向上させながらマルチメディアの活用に発展させることが可能なものとなっている。

6 本時の学習

(1) 本時の目標

一太郎の部品を使うことができる。

部品・画像・文字の扱いの違いがわかり、操作できる。

部品・画像・文字を効果的に配置し表現を工夫できる。

(2) 展開

学習内容	生徒の活動	教師の活動・評価(B 規準)
前時の確認 JS フォントエフェクト	・コンピュータを起動し、自分のファイル を呼び出す。	・自分のファイルを呼び出し、前時の学習内容を振り返るようにする。 自分のファイルを呼び出すことができる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習内容を振り返り、本時の学習内容を理解する。 ・JS フォントエフェクトツールの使い方を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習を簡単に確認する。説明を良く聞き、自分の作品に活かそうとしている。
学習課題の把握	部品を使い、表現を工夫しよう。	
部品ファイルの使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・部品ファイルの使い方・工夫の仕方・修正の仕方等知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文字と部品の扱いの違いを確認し、部品の回転・拡大縮小・上下関係等を知らせ、表現の工夫に結びつける。
製作	<ul style="list-style-type: none"> ・部品を使い、工夫した作品作りをする。 ・場合によっては JS フォントエフェクトツールと同時作業。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に必ず部品を入れることを確認する。 部品を自分の作品に活かそうとしている。文字・画像・部品を自由に組み合わせ、操作できる。文字や部品を自由に配置し工夫できる。 ・文字入力・罫線・簡易画像の各モードの違いとモードの変更方法でのつまずきへの対応。
ファイル保存	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易作図モードから抜け出し、上書き保存をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易作図モードを解除し、上書保存する。
作業の終了	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の取組を終了する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上書保存ができない生徒への対応。
まとめ 次時の連絡	<ul style="list-style-type: none"> ・次時の学習を知り、作品のイメージをふくらませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめは文字入力モードと簡易作図モードの関係にとどめ、次時の最初の部分で、画像との関係を補う事を知らせる。また、作品のイメージをふくらませておくよう指示を出す。
終了	<ul style="list-style-type: none"> ・評価カードの記入。 	

6 成果と課題

コンピュータをはじめ、デジタルカメラやイメージスキャナ等の情報機器の必要性は年々増加しており、生徒の活用も進んでいる。また、「年賀状 or クリスマスカードを作ろう」は身近な題材であり、生徒の意欲的にも高く、集中して取り組んでいる。一通りの操作を学習できるだけでなく、短時間で完成可能な作品でもあり、今後も取り上げていきたい題材である。しかし、4時間ではデジタルカメラやイメージスキャナから取り込み加工する時間を確保できないため、発展的な題材を設定する必要があると考える。著作権や肖像権等も盛り込んで学習できるものを設定し、情報モラルの育成も進めていきたい。